

古代に想いを馳せて、明日香の隣村を歩く。ちょっと地味なコースも想像の翼があれば夢のコースとなる。

高取 AB コース
奈良県 No.11 JOA 公認 No.778 Aコース
10 km 8 ポスト / Bコース 8 km 8 ポスト

21 年ぶりの新設コース

奈良県高市郡高取町。2002 年 11 月 21 日、この地に奈良県では既に廃止された天理コース以来 21 年ぶりに新コースが誕生しました。高取町と聞いて「どこ？」と思われた方には、明日香村の隣と言えはる程度分かっていただけるでしょうか。

コースとは直接関係ありませんが、高取町は薬の町として知られています。薬となる動植物が生息していたことから、飛鳥時代の推古天皇の頃には宮廷行事の一環として「薬狩り」が行われていたそうです。江戸末期には柳行李を担いで全国を行脚する「大和売薬」の行商が確立。一定量の薬を預けておいて、使用した分だけ集金するという、現在の置き薬のスタイルが生み出されていました。

というわけで、高取町は「史跡と薬の町」と覚えておいてください。

土日 現地で地図が買えない

スタート地点は近鉄南大阪線「壺阪山」駅から歩いて 10 分ほどのところにある「高取町リベルテホール」です。当ホールはちょうど 10 年前の 94 年 12

月に竣工。マップとマスターマップを扱っている教育委員会もこのなかに入っています。ただし公共機関ですので、土日祝日はお休みです。この場合、事前に郵送の依頼をすれば快く対応してくれます。

おもてに案内板が設置されていないのはちょっと残念。コースの存在が一般利用者には全く分かりません。新設コースなら、堂々と P R して欲しいところですね。町のホームページにも全く紹介されていない現状では、どれだけ利用されているのか心配になってしまいます。

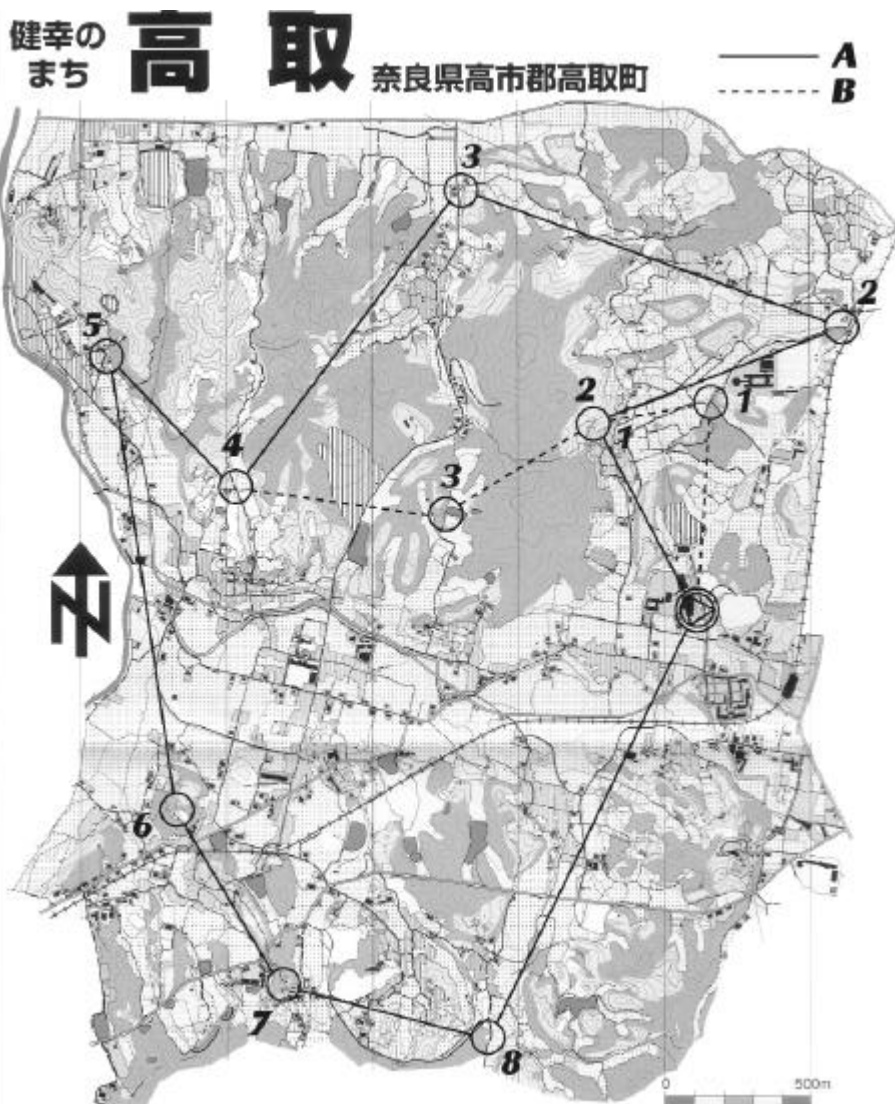
比較的起伏の少ない一帯に A B の 2 コースが設置されています。しかし、両コース合計してもポスト数は 10 本。8 本ずつのコースが生まれ、単独ポストはわずかに各 2 本のみ。しかも、第 4 ポスト以降は同一コースとなってしまうため、別々に回ると 2 コース目はやや興奮めです。私は興奮め覚悟で、敢えて 2 周することとして、A コースから歩き始めました。

まずは A コースから！

降りしきる雨のなか、高取中学校をまわり込み、舗装道路を北に向かいます。佐田の集落の奥に石段があり、上り詰めたところにあるのが「春日神社」。ここには 7 世紀後半のもので、天武天皇と持統天皇の間に生まれた草壁皇子の墓とされる「東明神古墳」もあり、境内に第 1 ポストが設置されています。

続く第 2 ポストは山から離れ、近鉄の線路まで東に向かいます。途中「高取高校」の横を通り過ぎる際、懐かしいマツダオート三輪 (T-2000) の廃車体に遭遇します。三輪でよくぞ傾いたりしないものだと感心しながら、ぐるりと観察。ここから一本道を進むと、ガードレールに括り付けられたポストが現れます。舗装道路のために埋め込むことができなかったようですが、撤去されないものかと気懸りな状態です。

西に折り返し、緩やかに登っていくと再び小さな集落に差しかかります。このあたり、やや道が入り組んでいるため、慎重な地図読みを心掛けてください。地図から受ける印象よりもきついアップダウンを経て山裾へ下ると、上水道施設の前に第 3 ポストが立って



います。目の前には最近はやりのコミュニティバスの「与楽」停留所があります。

第4ポストへは単調な道路を一気に南下します。「与楽寺」を過ぎ、広々とした舗装道路を歩いて行くと、兵庫地区に到達します。ここは古代、中世の兵庫庄があったところで、皇極天皇時代には武器庫があったとされています。山を回り込んで、住宅地の合間から北に向かうと、小道との分岐脇の田んぼの畔にポストがあります。人の気配もなく付近は森閑としていました。

小径を選んで南に下り「宗運寺」の前から曾我川沿いに延びる道路を北西に進みます。雨の降り止まぬなか、とぼとぼ歩いて行くと「斉明天皇越智岡上陵(おちおかうえのみささぎ)」の看板に到達。ポストは石段の横に置かれていました。

第6ポストへのルートの中盤までは出戻りです。同じ道も逆方向から歩くと景色も異なり、思いのほか退屈はしません。ただ、これもBコースで2度目となると話しは別ですが…。耕作地に細々と続く小道に入り、ポストのある小高い丘へ向かいます。500mほど歩いてから、丘へ西側から取り付くと、かなり頼りない小径が待ち構えています。丘の上には「天満神社」があるのですが、このルートは境内に直接向かうものではないため、木立の合間から本堂が見えた時点で、林の中に分け入らなければなりません。疎林ですので全く問題はないのですが、正面の参道から到達するのが正規のルートのように。ポストは境内にあるブランコの横に設置されています。

南に走る線路を渡り、第7ポストへ向かうのですが、ここは2通りのルートがあります。ほぼ並行するこれらのルートですが、正解は東側の方。私は西側の道からポストとの間に走る主要道路を経由して東の道に入ろうと思ったのですが、これが失敗でした。東の道はこの道路と立体交差していて、入ることができません。仕方なく西の道をそのまま進み、ぐるりと回ってポストのある「勝手神社」に到達しました。最初から東ルートを選べばすんなり来られるところでした。

第8ポストへは“造りかけ”の道路を歩きます。第7ポストから東に向かうのですが、この道路に出る直前は道らしき道がありません。「ここ行けるかな?」と思いながら歩を進めます。道路の未舗装部分に出られればあとは

大丈夫。東に向かい突き当りを南に入ると「波多穠井神社」の入口があります。ポストは境内にある小屋の横です。

ここからリベルテホールまでは長い長い道のり。北に向かい、主要道路を経由、集落の生活路を歩き、坂を登ると眼下に線路、その先にホールが見えてきます。踏み切りを渡ると3時間半にも及んだAコースはほどなく終了です。

続いてBコースへ突入!

通常の遠征ならこのまま食事が温泉へ直行なのですが、ここはわずか14分の小休止をただけで、続けてBコースを歩き始めました。とはいえ、殆どが重複することを考えるとワクワク感はずいぶん少なく、いかに退屈しないようなルートを選ぶかを考えながらのスタートとなりました。

ホールから北に向かうと、地図上では印刷ミスで白く抜けてしまったルートに突き当たります。北東に進み、次のT字路を左折すると早速第1ポストに到達します。このポストはたった2つしかないBコース単独ポストのうちの1つです。スタートして9分で楽しみ方の1つが終わってしまいました。

続く第2ポストは「春日神社」でこれはAコースの第1ポストです。同じ石段を上がるのも骨の折れる話ですが、ここは真面目に往復。

BコースのハイライトはA・Bコース通じて唯一の山越えとなる次の区間。雨露でジューパンをびしょびしょにしながら進む小道は、単調な平地地では味わえないオリエンテリング気分が沸き立ちます。峠まで登ると、そのあとは緩やかな下り坂。ここも地図作成上の不備で破線が途切れてしまっていますが、道路までそのまま下ることができるようになっています。道路に出て南に向かうとまたすぐに小道へ。山裾を下ると小さな池があり、堤に第3ポストが立っています。Bコース単独ポストはこれで終了。南へ下り、川沿いの道を西に向かうと、Aコースと合流します。以降は同一コースです。

第6ポストの「天満神社」に参道から向かい、第7ポストは立体交差の上を通る東ルートを進んで変化をつけ、スタートして2時間10分後に最終ポストに到達。すでに17時を回っていて、薄暮に包まれつつありました。ゴールへ向かう途中の集落で日没を迎え、暗闇の中リベルテホールへと帰り着きま

した。

2コース合計の所要は約6時間です。コースができなければまず訪れることなかったであろう高取町。コースそのものには大きな見所は少なく、やや地味な印象は拭えません。しかし、1つ1つの史跡に興味を示しながら歩くと、古代に思いが及び、それだけで歩く楽しみが生まれるコースとも言えるでしょう。

終了後は雨で冷えた体を温めに温泉へ。立寄ったのは、かつて住んでいた摂津市千里丘近くの「千里の湯」。四国から船で九州に渡るこれからの旅程に思いを馳せながら浸かった露天風呂は、至福のひとつときでした。

(2004年11月11日踏破 大高竜亮)

<イチョウイベント>

今年の秋は、 みやぎで燃える!

オリエンテリングみやぎ 2005
3DaysEvent

10月8日(土)

オリエンテリングチャレンジ
(仙台市近郊で企画中)

10月9日(日)

東日本オリエンテリング大会
(宮城県総合運動公園/利府町)

10月10日(祝)

東北大学オリエンテリング大会
(リレー企画)

世界選手権 2005 後のあなたの好スタートを、東北宮城の地で!

11月は琵琶湖

11月26日(土)

全日本トレイル0選手権大会
(近江富士花緑公園)

11月27日(日)

西日本オリエンテリング大会
(近江希望ヶ丘公園)

12月は瀬戸の島

12月17日(土)

モデル0/トレイル0/開会式

12月18日(日)

全日本リレー大会

12月19日(月)

島内88ヶ所巡りお遍路0